国会事項

開会式

第百八十六回国会の開会式は、一月二十四日天皇陛下の御臨席のもとに参議院議場において行われた。

衆議院議長は、次の式辞を述べた。

天皇陛下の御臨席を仰ぎ、第百八十六回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

現在、我が国には内政、外交の諸課題が山積しており、緊急かつ慎重にこれにあたり、解決のみちを開かねばなりません。

憲法の規定に基づき、国会は内閣総理大臣の指名により行政権を創出し、内閣は内政、外交を処理する行政権の行使について、主権者たる国民の負託を受けた国会に対し連帯して責任を負っています。

従ってわれわれ議員一同は、内政、外交の各般にわたり、すみやかに、適切かつ充実した審議を行い、国民生活の安定向上に万全を期し、諸外国との相互理解と協力を一層深め、世界の平和と繁栄に寄与する責任を負っています。

開会式にあたり、国会議員としてのわれわれに課せられた使命を深く認識し、おのおの最善をつくして主権者たる国民の信託にこたえようとするものであります。

次に、天皇陛下から次のおことばを賜った。

本日、第百八十六回国会の開会式に臨み、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

国会が、国民生活の安定と向上、世界の平和と繁栄のため、永年にわたり、たゆみない努力を続けていることを、うれしく思います。

ここに、国会が、国権の最高機関として、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、その使命を十分に果たし、国民の信託に応えることを切に希望します。

衆議院

議事日程

一月二十四日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号
平成二十六年一月二十四日（金曜日）
正午開議
第一　議席の指定

参議院

議事日程

一月二十四日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号
平成二十六年一月二十四日（金曜日）
午前十時開議
第一　議席の指定
第二　国務大臣の演説に関する件

人事異動

国家公安委員会

（警察庁長官官房付）警視監　井上　剛志
兵庫県警察本部長を命ずる（一月二十四日）

警察庁

（兵庫県警察本部長）警視監　塩川実喜夫
警察庁長官官房審議官（警備局担当）を命ずる（一月二十四日）

法務省

（東京地方検察庁検事兼法務省大臣官房秘書課付）検事兼法務事務官　上原　龍
法務事務官（法務省大臣官房秘書課付）の併任を解除する
新井　克美　尾上雄一郎　田中　宏行
力石　髙志　松原　浩子　松本　嘉明
山﨑　貴之　山本　憲一
平成二十六年度土地家屋調査士試験委員（筆記試験担当）に任命する
任期は平成二十六年十二月三十一日までとする（各通）

検事　江原　健志
検事兼法務事務官兼法務教官　伊藤　孝至
法務事務官　済田　秀治
同　塚野　智久　同　西江　昭博
平成二十六年度土地家屋調査士試験委員に併任する
併任の期間は平成二十六年十二月三十一日までとする（各通）
検事　坂本　三郎
平成二十六年度土地家屋調査士試験委員（筆記試験担当）に併任する
併任の期間は平成二十六年十二月三十一日までとする（以上一月十四日）

○定年退官
郡山区検察庁副検事石井利一は、検察庁法第二十二条の規定により一月十四日限り定年退官

水産庁

（水産庁増殖推進部栽培養殖課付）農林水産技官　渡邉　英直
水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室長に昇任させる（一月二十一日）

叙位・叙勲

○叙位

正七位
正五位に叙する
中山　二郎
角間喜太郎　清水　勇
肥田埜　孝　八尾　隆久
従五位に叙する（各通）
磯村　文雄　鴨志田長司
鈴木　英之　中村　一已
濱口　和彦
三島　嘉藏
（三等海佐）
福崎　武　牧　淳一郎
正六位に叙する（各通）
浅田　仁　生野　善章
小暮　俊夫　武内　逸朗
橋本　輝久　平原　要俊
従六位に叙する（各通）
佐藤　文男　白神　克巳
正七位に叙する（各通）
進藤　芳郎　土井　利夫
従七位に叙する（各通）（以上二十五年十二月十九日）
村田吉太郎　川畑　征治
富田　常雄　山下　盛尚
鈴木　忠雄
奥村　正策
正三位に叙する
（東京医科歯科大学名誉教授）
中澤　泰男
（東京外国語大学名誉教授）
縄田　鉄男
（旭川医科大学名誉教授）
従四位に叙する
保坂　明郎
正五位に叙する
（山口県議会議員）
井上　渉　内田　謹三
亀田　義信　城戸　秀夫
田上　英明　水間　篤典
従五位に叙する（各通）
正七位
逢見　道廣　鎌田　一秋
佐野今朝十　野崎　健一
山田　昇
正六位に叙する（各通）
正八位
河村林太郎　塩谷善志郎
進藤　昭一　富崎　敏逸
山内　淳一　山崎　建夫
従六位に叙する（各通）
（行田市消防司令長）
梅田　修次　亀本　時夫
清水　昭三　手島　悟
二宮　玄三　藤田　信好
正七位に叙する（各通）
笠谷　正好
従七位に叙する（以上二十五年十二月二十日）
森川　憲明
正三位に叙する
高橋　久子
従三位に叙する
（東北大学名誉教授）
阿部　圭志
（国立大学法人職員）
小野　高幸
（大学入試センター名誉教授）
柳井　晴夫
従四位に叙する
高島　正幸
正五位に叙する
板見甲子夫
従七位
従五位に叙する
北岡　敏彦　高橋　清祐
福島　良一　堀江　一美
町田治三郎　三桝　清美
米原　進
正六位に叙する（各通）
秋山　猛　後藤　豪
高棊　祺延　田平　民郎
宮崎不二仁　森山　敏夫
蕨　武
従六位に叙する（各通）
中澤　俊祐
堀口　貫一
山本　勉
杉山　繁
堀　昭男
矢ヶ崎正俊